

令和2年度以降の取組み について

令和2年度以降の補助金等の考え方について

・平成22年10月より開始した10年間にわたる阪堺線への支援は、令和2年9月に完了する予定となっている。

支援期間 (H22.10~R2.9)

支援完了後 (R2.10~)

10年間で20億円程度(年間2億円上限)

《利用者拡大策への支援》

ゾーンチケット、高齢者割引、2区間運賃均一化、周知広報

ゾーンチケット、高齢者運賃割引については公共交通利用促進事業として実施

※ 2区間運賃均一化への補助は終了

《運行の継続に必要な経費への支援》

施設の保安・保守経費への支援など

→ 補助終了

10年間で30億円程度(国費含む)

《老朽化対策への支援》

レール、マクラギ、通信設備などの改修

【負担割合】国1/3、堺市2/3

国との協調補助を実施

【負担割合】国1/3、堺市1/3、阪堺1/3

《施設高度化への支援》

LRV (1編成)

(1編成)

(1編成)

(1編成)

【負担割合】
国 1/3
堺市 約2/3
阪堺 一部

【負担割合】
国 1/3
堺市 2/3

【負担割合】
国 1/3
堺市 2/3

【負担割合】
国 1/3
堺市 1/6
阪堺 1/2

国との協調補助を実施

【負担割合】国1/3、堺市1/3、阪堺1/3

※ LRV (低床式車両) 導入の堺市負担割合は1/6

停留場の増設・改修

【負担割合】国1/3、堺市2/3

・令和2年度は、東湊、高須神社の分岐器撤去等を行い、更なる安全性の向上を図る。

<老朽化対策内容>

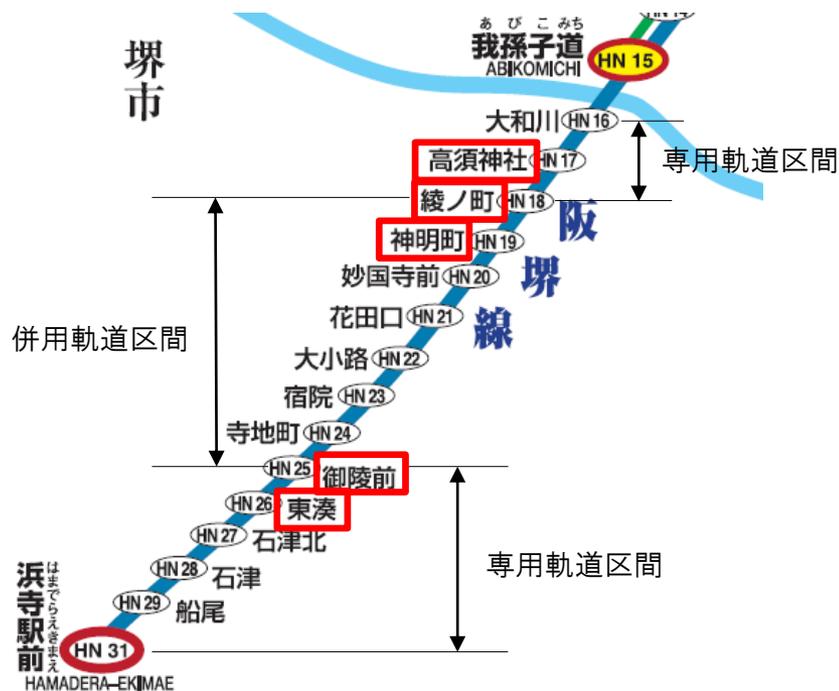
○軌道更新（東湊、高須神社）
分岐器撤去、レール、マクラギ更新

○軌道更新（綾ノ町～神明町）
レール、マクラギ更新

○き電線等改良（御陵前～東湊）

○自動閉そく装置更新（東湊）

※国費も活用しながら老朽化対策を実施



東湊分岐器